

2018年度 認知神経リハビリテーション・ベーシックコース（大阪・プログラム）

1日目 2018年6月30日（土）

[リハビリテーション脳科学]

09:20- 認知の樹（映像）

09:30-10:30 講義 1) 行為と認知のニューロサイエンス（富永）

- ① 脳の知覚運動制御メカニズム
- ② 運動意図(予測)と運動イメージ
- ③ 運動学習モデル(スキーマ理論、比較学習)、身体意識、行為の多感覚統合

10:40-11:40 講義 2) 片麻痺の機能回復神経学(restorative neurology)（河野）

- ① 痙性麻痺と錐体路
- ② 機能解離と半球間抑制
- ③ 片麻痺の機能回復とリハビリテーション治療

[認知神経リハビリテーション入門]

11:50-12:40 講義 3) 認知神経理論（園田）

- ① 身体と環境の相互作用
- ② 認知過程からみた回復と学習の類似性
- ③ 行為の全体性、複合性、拡張性と行為の創発原理

13:40-15:10 演習 1) 病態分析と病態解釈（園田・小倉・全講師）

- ① 脳画像検査や手術所見などから得られる情報から数量化、視覚化可能な検査チャートによる評価まで
- ② 外部観察・・・姿勢と動作の特徴（自発的・規定動作）、神経学的病理、特異的な運動の異常要素、行為システム
- ③ 内部観察・・・認知過程の変質、意識経験の変質、観察のためのプロフィール、一人称言語記述、意識の志向性

15:30-16:20 講義 4) 行為の機能システムと情報メカニズム(玉木)

- ① 身体を情報の受容表面と捉える
- ② 行為・機能・情報のヒエラルキー
- ③ 行為の機能システムの回復のための情報の構築

16:30-17:20 講義 5) 道具と訓練（高梨）

- ① 道具の名称
- ② 物理的道具と心理的道具
- ③ ツールとしての訓練器具・運動イメージ・言語・他者観察

17:30-18:20 演習 2) 認知問題と訓練の組織化（奥埜・全講師）

- ① 身体部位、訓練段階、感覚モダリティ 認知問題
- ② 空間問題と接触問題
- ③ テーマ(身体部位)、内容・方法・検証

2日目 2018年7月1日(日)

[認知神経リハビリテーションの実際]

09:20-12:50 演習 3) 行為の機能システムと認知神経リハビリテーション

- ① 行為システムと訓練器具の関係
- ② 難易度の調整
- ③ 基本的手続きと実技

[I] 上肢の機能システムと訓練の実際 (河野・石橋・全講師)

[II] 体幹の機能システムと訓練の実際 (玉木・藤橋・全講師)

[III] 下肢の機能システムと訓練の実際 (高梨・壹岐・全講師)

[脳のなかの訓練室]

13:40-14:30 講義 6) 左半球損傷の病態解釈と回復の探求 ～失行症 (玉木)

- ① 「行為のトランスフォーメーション(変換)」としてみた左半球障害の特徴
- ③ 失行症の病態 (肢節運動失行・観念運動失行・観念失行)
- ④ 失行症の治療 (動作的・映像的・言語的表象の同種・異種感覚情報変換、道具使用)

14:40-15:30 講義 7) 右半球損傷の病態解釈と回復の探求 ～半側空間無視 (高梨)

- ① 「行為のスペース・インテグレーション(空間統合)」としてみた右半球障害の特徴
- ② 半側空間無視の病態 (注意障害、身体空間・身体周辺空間・身体外空間)
- ③ 半側空間無視の治療 (身体の正中線、体性感覚空間への注意、行為の多感覚統合)

[身体化された認知]

15:40-16:30 講義 8) 身体化された認知 (embodied cognition) の回復を目指して (園田・河野)

- ① リハビリテーション身体論 ～フッサール、メルロ・ポンティ、ギブソン、ギャラガー、エーデルマン、ヴァレラ…
- ② 身体・物語・人生とロマンティック・サイエンス ～ルリア、サックス、ペルフェッティ…
- ③ 行為の記憶と想起された現在 ～認知運動療法から行為間比較への旅…

認知の樹(映像)

終了